

レベル I

新人看護職員の到達目標

1. 日常生活援助のための知識・技術・態度を身につけベッドサイドケアが安全確実にできる。
2. チームメンバーの役割と責任を果たすことができる。
3. 院内研修、看護実践を通して看護の知識を深められる。
4. 研究活動に参加する。

《看護実践》

- 病棟の日常業務の流れ・週間予定がわかる。
- 病棟の特殊性と各勤務の業務内容がわかる。
- 入院患者の代表的な疾患・治療を理解する。
- 感染症の取扱、清潔操作、麻薬・準麻薬、輸血の取扱がわかる。
- 主な検査・処置の目的・方法・準備・介助、患者への説明ができる。
- 急変時の適切な看護処置ができる。
(救急カート、除細動の準備など)
- 自分の行う看護実践に責任をもって報告・連絡・相談する。

《管理・リーダーシップ》

- 看護部の今年度の目標が言える。
- 病棟の概要・看護目標・体制について言える。
- オーダーシステム、ルールがわかる。
(オンラインシステム、KNS、物流システム)
- 看護業務の経済的面に注意をはらうことができる。
- チームメンバーの役割・機能を発揮する。
- 事故発生時の連絡・報告ができる。
- 災害発生時の対処方法がわかる。

《教育》

専門職業人としての責任を自覚する

- 院内教育プログラムへ参加する。
- 配属セクションの勉強会へ参加する。
- 看護に関わる法律を知る。
- 社会人、職業人としての常識的な行動がとれる。
- I 事例をまとめ報告できる。
- 看護学生の実習に配慮できる。

《研究》

- 看護研究に関心をもち、参加していこうとする意欲をもつ。
- 院内の研究発表会、トピックスへ積極的に参加する。
- 文献検索ができる。

新人ナース1ヶ月目研修

目的：臨床実務に直結した看護技術と精神面の弱さをフォローする

- ① 報告・連絡・相談の必要性、大切さを学ぶ。
 - ◇ 同期同志が集い、臨床で1ヶ月を過ごしての不安、悩み、戸惑いなど、身体面・精神面を含めて語り合い、気持ちを表出する。
 - ◇ 教育委員は、新人の表情・話し方などから現状を読み取る。
- ② 麻薬・向精神薬の基礎知識、法的側面、管理の重要性を理解する。
 - ◇ 向精神薬“1つ拝借” …… 3つの罪を知る
- ③ 輸液管理とME機器トラブル対処について習得する。
- ④ 感染看護の基礎知識、針刺し予防、手洗い法を習得する。
- ⑤ TA-PACKシステムについて
 - ◇ エゴグラムの分析を学び、自己の傾向を知る。

新人ナース3ヶ月目研修

目的:リアリティショックを強く感じて落ち込む時期と捉え
自信をもって前に進めるようにする。

- ①3ヶ月目の自分自身をふりかえり、課題を明確化する。
◇困っていること、悩んでいることをラベルに書き出す。
◇所属セクションの5大疾患の看護を修得する。
- ②人工呼吸器の取扱と看護のポイントを習得する。
◇人工呼吸器の使用中の看護について学ぶ。
- ③心電図について
◇重症不整脈、心電図モニターの取扱について学ぶ。
- ⑤心肺脳蘇生法のABCを習得する。
救急蘇生、気道確保の技術修得

新人ナース6ヶ月目研修

目的：一人立ちに向けて、臨床の場で多重課題・時間切迫の状況下で優先順位を選択し、安全に正しく看護ケアが提供できるかシミュレーションで確認する

①多重課題、時間切迫シミュレーション

②職場適応状況について

◇ 配置された職場についての満足度、理解度、自由度、成長実感度についてグループワークし、自分ができることできないことなどを知る。

③技術チェック

◇ 自己評価、プリセプター評価したものを基にグループワークし、自己の技術修得について知る。

④メンバーシップについて学ぶ。

◇ 看護部目標、病棟目標、自分の役割を話す。

◇ ゲームを通してメンバーの役割を知る。